

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 0502036

政策目標	2 ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10 地域福祉の推進	事業優先度	B	
単位施策	1 福祉意識の醸成	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町戦没者追悼式	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	追悼式の開催		#N/A	
事業目標	年1回	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	雄武町にゆかりある戦没者に対して、町民がこぞって追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにすべく、献花方式の式典を屋内施設にて開催する。	献花方式の式典を開催する。	献花方式の式典を開催する。	献花方式の式典を開催する。	献花方式の式典を開催する。	献花方式の式典を開催する。
	事業費(千円)	900	180	180	180	180
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	900	180	180	180	180	
実績事業費	事業費(千円)	709	138	173	133	129
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	709	138	173	133	129	
関連事項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等) 雄武町戦没者追悼式にかかる運営費 出席者 103名	(実施内容等) 雄武町戦没者追悼式にかかる運営費 出席者 130名	(実施内容等) 雄武町戦没者追悼式にかかる運営費 出席者 118名	(実施内容等) 雄武町戦没者追悼式にかかる運営費 出席者 112名	(実施内容等) 雄武町戦没者追悼式にかかる運営費 出席者 117名
	【評価・実績】	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し) (非登載事業)	年度目標値	1回	1回	1回	1回
	年度達成率		77%	96%	74%	76%
	全体達成率		15%	35%	49%	64%
					72%	79%

事業名	雄武町戦没者追悼式	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	磯田昭次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	追悼式の開催								
【抱える課題やニーズは】	平和と繁栄を築いた先人に対する敬愛の希薄と平和に慣れ、戦争の惨劇を忘れる恐れがある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常に平和と繁栄を築いた先人に対する敬愛精神と平和への誓いを新たにします。	① 開催回数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を表現したいか】 ※成果=目的	先人に対する敬愛さと平和が維持される。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	追悼式挙行	過ぐる戦争における雄武町戦没者の霊に対し、追悼の誠を捧げるとともに、平和への誓いを新たにすため、雄武町民センターで戦没者追悼式を挙行した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	平和と繁栄を築いた先人に対する追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにすることと併せ、戦争の惨劇を後世に伝えるためにも必要な事業と考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	追悼式を挙行したことで、平和と繁栄を築いた先人に対する敬愛さ及び平和への誓いを新たにすることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	平成18年度から屋内での挙行としたことで、天候に左右されず、高齢の遺族でも出席し易くなった。専用の祭壇を使用し協力人員の抑制と準備時間の短縮に努めながら、限られた予算で執行できるよう工夫している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	雄武町にゆかりのある戦没者を追悼する行事であることから公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

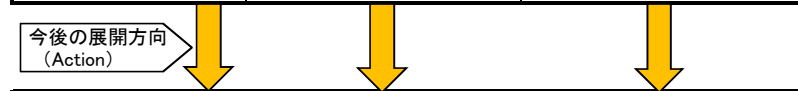
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
戦争と戦没者は忘れてはならない事実であり、恒久平和を願うためにも、戦没者追悼式の挙行は必要性が高い。		



継続/現状維持
本町における平和と繁栄を築いた先人に対する追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにす役割を担っており、引き続き実施すべき事業である。

※展開方向の区分